



2023年2月6日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 へ り オ ス
代 表 者 名 代 表 執 行 役 社 長 CEO 鍵 本 忠 尚
(コード番号：4593 東証グロース)
問 合 せ 先 執 行 役 CFO リチャード・キンケイド
(TEL：03-4590-8009)

産業革新投資機構による Saisei ファンドへの LP 投資の決定に伴う 資金使途の変更について

当社の連結子会社である Saisei Bioventures, L.P. (以下、Saisei ファンドと言います。) に対して、株式会社産業革新投資機構(本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：横尾敬介、以下、JIC と言います。) が 30 百万米ドルの LP 投資を行うことを決定しました (Saisei Ventures LLC より公表)。これに伴い、当社が過年度に調達を行いました資金の使途変更を 2023 年 2 月 6 日の執行役会において決議しましたのでお知らせします。

1. 背景

当社は、2021 年 1 月に Saisei ファンドを設立し、細胞・遺伝子治療や再生医療に関する次世代デファクトスタンダードとなりえる優れた治療薬や基盤技術を開発している日米の革新的な企業へ投資を行ってきました。なお、Saisei ファンドの運用に関しては、米国ボストンを拠点とする Saisei Ventures LLC (当社の連結子会社、以下、サイセイ・ベンチャーズと言います。) がアドバイザーを務めています。現在、Saisei ファンドには当社、並びに S M B C 日興証券株式会社、みずほキャピタル株式会社をはじめとする複数の国内大手金融機関等が出資者として参画していますが、この度、JIC が Saisei ファンドに対して出資を約束することが決定されました。Saisei ファンドは新たな資金を元に、優れた日本の技術を世界市場で承認が取得可能になる様な産業の流れを作りつつ、次世代の産業のコアとなるような治療薬や基盤技術への投資を加速します。

2. 資金使途の変更

当社は、2019 年 7 月 10 日付公表の「海外募集による新株式の発行及び 2022 年満期ユーロ円建取得条項付転換社債型新株予約権付社債の発行に関するお知らせ」及び 2019 年 7 月 11 日付公表の「海外募集による新株式及び 2022 年満期ユーロ円建取得条項付転換社債型新株予約権付社債の発行条件等の決定に関するお知らせ」に記載のとおり、①新規シーズ導入及びパイプライン開発に係る費用、②バイオ領域投資に特化したファンド (現 Saisei ファンド) の新規設立費用及び出資約束金並びに③運転資金のための資金の確保を目的とし、海外募集による新株式 1,948,100 株及び 2022 年満期ユーロ円建取得条項付転換社債型新株予約権付社債 (そのうち社債のみを以下「本社債」と言います。) 50 億円を発行し、合計約 76 億円の資金調達 (以下「本資金調達」と言います。) を行いました。

また、2022 年 7 月 12 日付公表の「第三者割当による行使価額修正条項付第 18 回新株予約権 (行使指定・停止指定条項付) の発行に関するお知らせ」に記載のとおり、本資金調達の資金使途の変更を行い、変更後の資金使途を①新規シーズ導入及びパイプライン開

発に係る費用、②Saisei ファンドの新規設立費用及び出資約束金、③運転資金並びに④本社債の償還資金としております。

この度の JIC の Saisei ファンドに対する出資約束の決定をうけ、当社の出資約束金 5 百万米ドルを JIC に譲渡したことにより、本資金調達の資金使途としていた②Saisei ファンドの新規設立費用及び出資約束金 10 百万米ドル（約 13 億円）を 5 百万米ドル（約 6.5 億円）に変更し、支出予定時期についても Saisei ファンド投資期間の終了を予定している 2026 年度までとしました。また、差額の約 6.5 億円については 2024 年 7 月に期日を迎える第 2 回無担保転換社債型新株予約権付社債の償還資金として充当予定です。

このため、本資金調達の資金使途に関しまして、以下のとおり変更いたします。

(変更前)

具体的な使途	金額	支出予定時期
① 新規シーズ導入及びパイプライン開発に係る費用	約 35 億円	2021 年 12 月までに
② Saisei ファンドの新規設立費用及び出資約束金	約 13 億円	<u>2022 年 12 月までに</u>
③ 運転資金	約 16 億円	2020 年 12 月までに
④ 本社債の償還資金	約 12 億円	2022 年 7 月までに
合計	約 76 億円	

(変更後)

具体的な使途	金額	支出予定時期
① 新規シーズ導入及びパイプライン開発に係る費用	約 35 億円	2021 年 12 月までに
② Saisei ファンドの新規設立費用及び出資約束金	約 6.5 億円	<u>2026 年 12 月までに</u>
③ 運転資金	約 16 億円	2020 年 12 月までに
④ 本社債の償還資金	約 12 億円	2022 年 7 月までに
⑤ 第 2 回無担保転換社債型新株予約権付社債の償還資金	約 6.5 億円	<u>2024 年 7 月までに</u>
合計	約 76 億円	

(注) 変更箇所の下線を付しております。

3. 今後の見通し

本資金使途の変更により、業績への影響はありませんが、Saisei ファンドへの出資約束金として確保していた約 6.5 億円については社債償還のために充当することが可能となり、当社の将来的な資金負担が軽減されることとなります。今後その他に開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせ致します。

■株式会社産業革新投資機構（JIC）について

JICは2018年9月、産業競争力強化法に基づき発足した投資会社です。JICは、Society5.0に向けた新規事業の創造の推進、ユニコーンベンチャーの創出、地方に眠る将来性ある技術の活用、産業や組織の枠を超えた事業再編の促進、を重点投資分野としています。これらの分野に対し、傘下のファンドや民間ファンドへのLP投資を通じてリスクマネーを供給することで、我が国におけるオープンイノベーションを推進し、我が国産業の競争力強化や投資エコシステムの拡大に貢献することを目指しています。

■サイセイ・ベンチャーズについて

サイセイ・ベンチャーズは科学技術の革新を目指す次世代の企業の立ち上げや再生医療業界の優秀な人材の育成を支援する新しいベンチャーキャピタルです。概念実証、臨床検証、市場価値創造をめざす情熱的なバイオベンチャー起業家を支援します。日本と米国という2つの重要な生命科学のマーケットを中心に、両国の制度面での利点を活用し、世界に向け投資先企業の価値向上を目指します。サイセイ・ベンチャーズでは再生医療や細胞医療分野の科学者でもあり経験豊富なベンチャーキャピタリストでもあるジョナサン・イエ（Jonathan Yeh）氏（博士）がSaiseiファンドの投資戦略の策定から実行までを主導しています。詳細については、こちらをご覧ください。

<https://www.saiseiventures.com/>

■株式会社ヘリオスについて

再生医療は、世界中の難治性疾患の罹患者に対する新たな治療法として期待されている分野であり、製品開発・実用化へ向けた取り組みが広がり、近い将来大きな市場となることが見込まれています。ヘリオスは、iPS細胞（人工多能性幹細胞）等を用いた再生医薬品開発のフロントランナーとして、実用化の可能性のあるパイプラインを複数保有するバイオテクノロジー企業です。2011年に設立、2015年に株式上場（マザーズー現東証グロース:4593）し、再生医薬品の実用化を目指して研究開発を進めています。独自の遺伝子編集技術を用いて免疫拒絶のリスクを低減する次世代iPS細胞、ユニバーサルドナーセル（UDC: Universal Donor Cell）を作製し、がん免疫領域、眼科領域、肝疾患等において、iPS細胞技術を用いた新たな治療薬の創出のための取り組みを進めています。iPS細胞由来の再生医療等製品としての第一候補であるHLCN061は、固形がんに対する殺傷能力を遺伝子編集により強化した次世代のNK細胞（eNK[®]細胞）治療薬です。また、体性幹細胞再生医薬品を用いて日本国内における脳梗塞急性期および急性呼吸窮迫症候群（ARDS）に関する治験を実施し、申請に向け規制当局との協議を進めています。

<https://www.healios.co.jp/>

以上